

依田林業新聞

チェーンソーの点検と整

表 1 在来型林業機械の保有台数（国有林野事業所有を除く）

平成28年	チェーンソー	157,197
	刈払機	167,232

従来型林業機械の中で、保有

台数の、1位と2位を占めています。使用する頻度も多いので、定期的に目立てをし、必ず毎日点検、毎週点検、月1点検を行わないとなりません。

普段よく故障しやすい部分として、リコイルスターター・自動遠心クラッチ・オイルポンプ・マフラー・キャブレターなどがあげられます。不具合が起きた時用に、予備のチェーンソーを準備しておくことも大切です。使用上の注意として、無理に木に押し付けていたり、移動中も作動させていたり、高速の空回転をしたりしていると、故障の原因にも繋がります。作業上の注意として、防振・防寒に役立つ厚手の手袋を着用する。軽く暖かい服を着用し、冷え対策をする。エンジンを掛けている際、耳栓をしているか。など、まだ沢山の点検が必要となってきます。休憩時は疲れている場所をマッサージしたり、出来るだけ暖かい場所で休みましょう！

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

冬の枯打ち安全対策

枝打ちは樹木の生長が止まる秋～冬にかけて行われます。まさに今の時期なのです。

重なり合っている枝を切ることで、林内の光環境を改善し、枯れた枝から害虫が入るのを防ぎ、より良く成長させ、森林火災において、拡大を防ぐ事の出来る大切な作業です。

冬に行う作業のため、雪や雨など、天候が悪化すると、とても危険な作業へと変わります。

そこで、注意すべき安全対策をご紹介します。

常に林業は、危険と隣り合わせの仕事です。無理のないよう、作業しましょう。ご安全に！

- (1) 枝打ち梯子は先端と下部をしっかり固定する。
- (2) 枝打ちハシゴは斜面では、必ず山側から木に架ける。
- (3) 身体は3点支持をする。
- (4) 支える手やロープは打つ枝より上側に位地する。
- (5) 枯れ枝を持つての作業はしない。枝は折れ易いので、足を乗せない。
- (6) 枝打ち作業はノコギリを使用する。
- (7) 枝打ち作業の前に、下に人が居ないことを確認する。
- (8) 枝打ち梯子に登って作業をする場合は、必ず安全帯を使用する。

今月の一言

大きく成長するために必要なことは

正月豆知識

皆様お正月はいかががお過ごしでしょうか？
今回の豆知識は、お正月飾りについてです。

飾りはいくつもありますが、目的によって別れるそうです。代表的なのは、

○松飾り（門松） ○しめ縄

○鏡餅ですが、そもそもお正月に飾りをしたり、ご馳走を

用意してお祝いしたりするの

は、「年神様」をお迎えするた

めです。「年」とは稲の実り

あり、農耕の成功と、飢える

事がないようにであったり、

先祖が家を守ってくれること

を願って新年の幸福を願った

とする説があるようです。

訪れてくれる神様に対して目

印と場所を作るのが、お正月

飾りの役割だそうです。

松飾りは神様の居場所を表

し、しめ縄は神様の居る神聖

な場所を「内」と示す区切り、

鏡餅はお供え物だそうです。